



住まいのおしゃべり広場

<http://www.suemasaco.jp>

末政建設株式会社

第 54 号

はなまつり

目次

- 1★ ちょっとあったかあ〜いお話
- 2★ 花粉にも強い『チャコの家』
★「お家ドック」しましょう!
- 3★ イチ押し!!商品情報!
★あれ!これ!知っ得情報
- 4★ 『チャコの家』探検隊募集中!
★ イベント案内

4月に入り桜が満開になり、「丸岡城の桜まつり」や「竹田のしだれ桜まつり」など各名所で行われている桜祭りは、多彩なイベントや美味しい食べ物もあって、多くの人で賑わっていました。これからは他のいろいろなお花が咲き始める時期です。暖かい日も増え気持ちのいい季節ですので、のんびり街歩きや自然の中を散策するのもいいですね。私も体力維持を兼ねてウォーキングしながら出かけようと思っています♡ (hioe)



ちょっとあったかあ〜いお話

あわら市宮川重文さんご姉弟の「ちょっとあったかあ〜いお話」です。宮川さんは、福井市南部さん（長女）、三国町高倉さん（次女）との3人姉弟で、弊社にはお三方共とっても大切なお客様で、今日まで長いお付き合いをさせて頂いております。

先日、高倉さん宅をお邪魔したところ、玄関戸を開けていきなり目に飛び込んできたのは、玄関ホールに鎮座する素敵な衝立(ついたて)でした。お話をお聞きすると、17年前にご実家の宮川さん宅を建て替えた時、解体したお家の書院に使われていた障子とケヤキの古材を再利用して、衝立に生まれ変わらせたものでした。そう言えば、解体する際に宮川さんから「いどこにケヤキの細工を趣味にしてる人がいて、その人に柱や梁を少し持っていってもらってもいいか?」と言われた事を思い出しました。



高倉さんご夫婦と衝立



宮川さんご家族と火鉢

その後、宮川さん宅にはその方から新築の落成記念にと、そのケヤキを使って作った重厚で立派な火鉢をプレゼントされていました。そして、南部さん宅にも、ケヤキに細工を施した行燈がプレゼントされていました。作品を作られた方は趣味でされているので、お姉さんお二人には時間をかけて昨年になってからのプレゼントとなったそうで、それにしても趣味という域を越えた素晴らしい出来映えで、私が言う



南部さんご夫婦と愛犬ももちゃんと行燈

のも変ですが作られた方に感謝の気持ちさえ湧いてきました。

昔から家の建て替えをする際には、出来ればご先祖様が建てた家の材料を引き継ぎ、再利用するといふ供養になると聞いた事があります。弊社ではこれまでもお客様のご要望でお子さま達の成長を記録した柱を記念に残したり、古材を下駄箱に蘇らせたり、座敷の立派な欄間をディスプレイしたりとさせて頂きましたが、その都度「やっぱり昔のものを残すのは大変だけどいいもんだなあ」と思ってきました。しかし、私が知っている限り今回のように嫁がれたご姉弟までが、このような形で大切にされていると聞いたのは初めてでしたので、ちょっとあったかい気持ちにさせて頂きました。どうぞ、いつまでも大切になさって下さい。